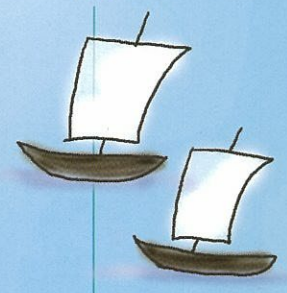
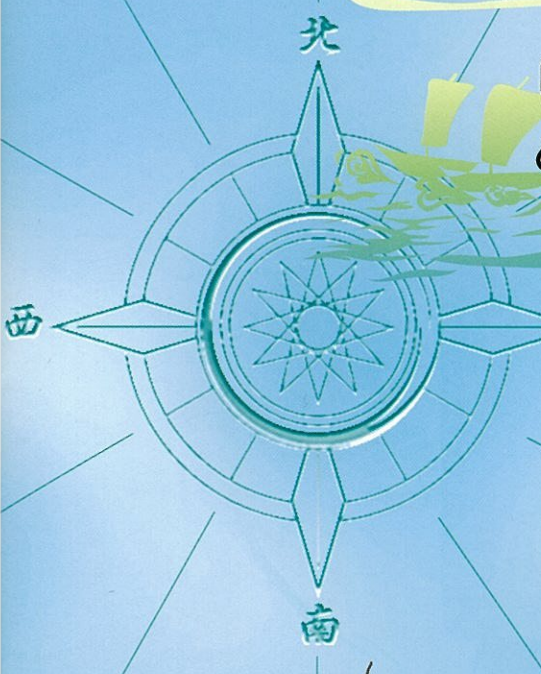


石見銀山

～ 野外手帳 ～





石見銀山

～野外手帳～

大田市外2町広域行政組合では、ふるさと学習誌「石見銀山」(1～5作)の総集編として「石見銀山～野外手帳～」を作成いたしました。

今回のふるさと学習誌は、大田市、温泉津町、仁摩町にある石見銀山遺跡を訪れ、実際に体験しながら学習できる教材として編集しています。平成14年度から小学校で実施される「総合的な学習の時間」等で、広く活用されることを期待しています。

もくじ

大森の町並みマップを完成させよう!	01
大森町の住まい	02
間歩の分布状況を調べよう!	03
銀の生産遺跡を調べよう	04
大森鉱山と永久工場	05
永久工場跡を調べよう	06
城の配置を調べよう!	07
城館遺跡の概要	08
銀の積出港について調べよう!	09
温泉津町の史跡マップを完成させよう!	11
温泉津町について調べよう	12

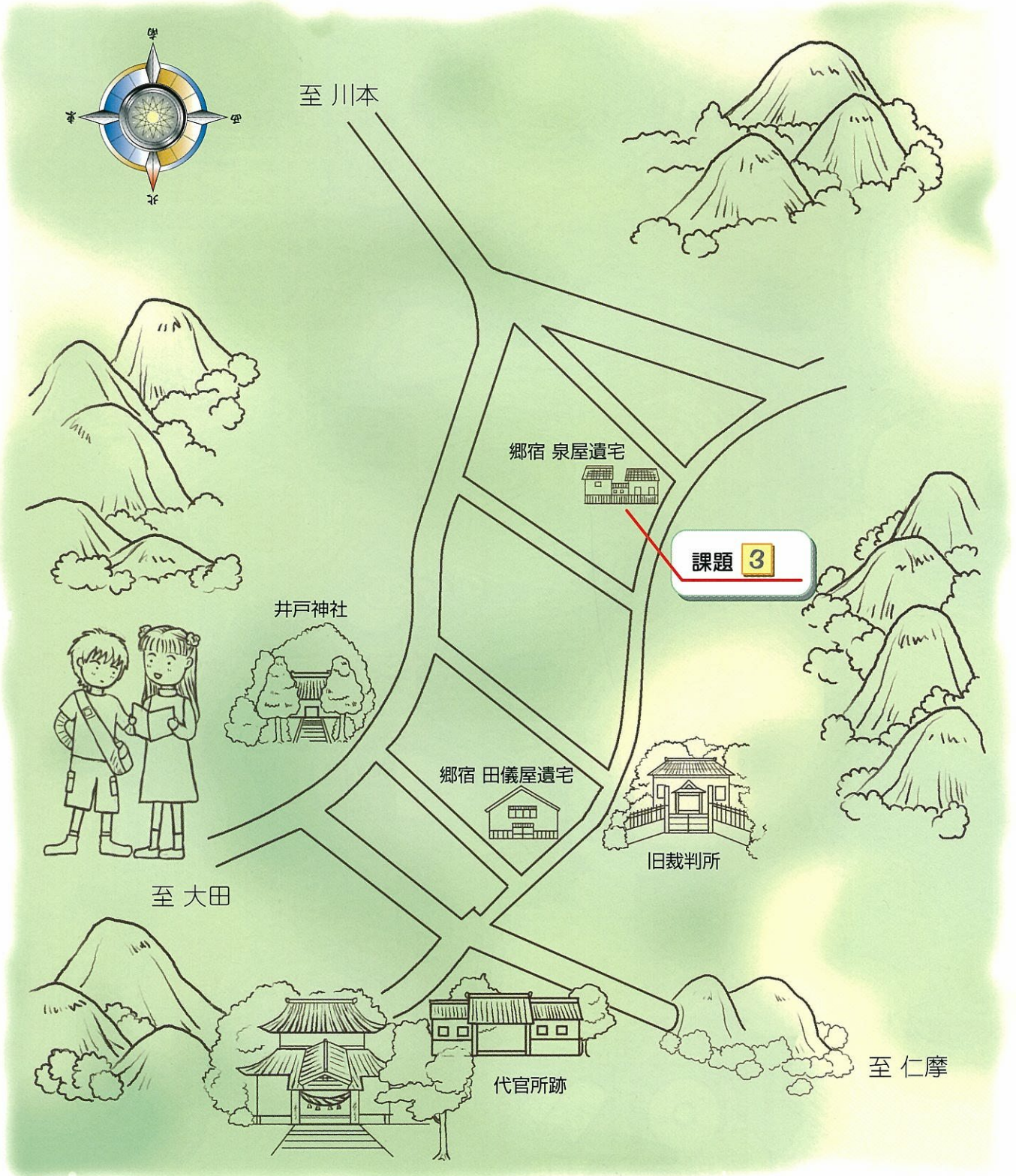
◆用意するもの◆



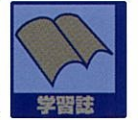
大森の町並みマップを完成させよう！

課題

大森の町並みを歩きながらオリジナルのガイドマップを完成させよう！



大森町の住まい

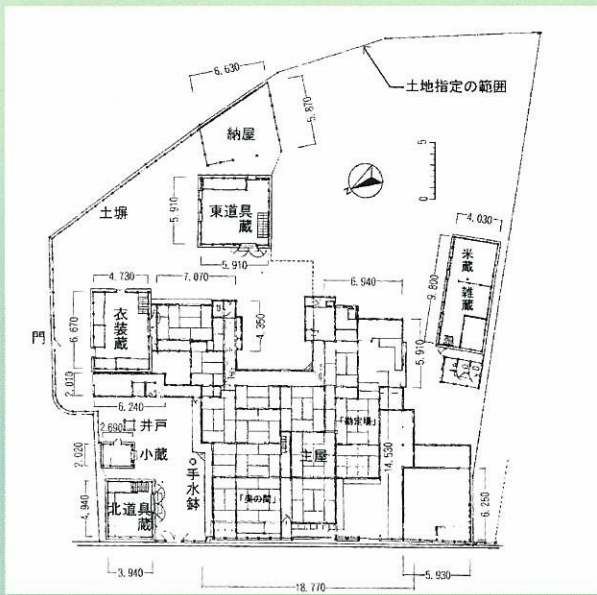


江戸時代、石見銀山とその周辺の諸村は幕府直轄地(天領)となりました。大森町には直轄地を支配するための代官所が置かれ、石見銀山領150余村の政治経済の中心として発達しました。また、明治時代には大森県庁や瀬摩郡役所も置かれたほか、裁判所など主要な機関もありました。ここでは、それら歴史的な建物に注目して以下の課題について学習しよう。

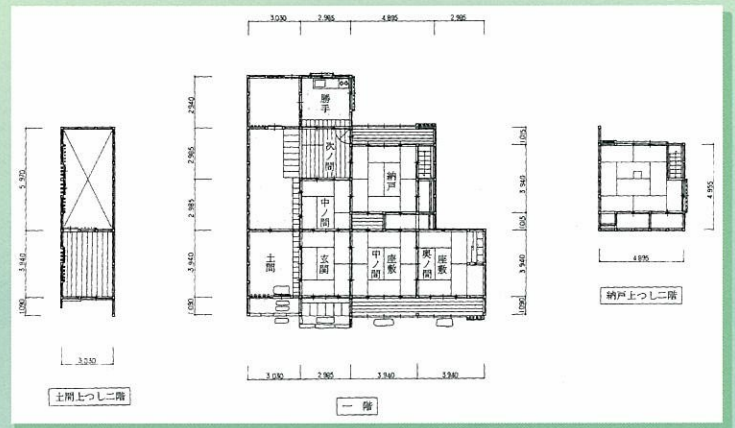
課題

1 江戸時代の大森町にはどのような人々が暮らしていたのだろう。

2 次の図は武士と商人の屋敷の見取り図です。どのような違いがあるか考えてみよう。



熊谷家



河島家

3 郷宿とはどのような施設か。また、なぜ大森にそのような施設があったのか。

4 江戸時代の城下町では、武士や商工業者など身分や職業によって町割りが行われていたが、大森町ではどうだったのだろう。

間歩の分布状況を調べよう！

課題

- 1 龍源寺間歩、新横相間歩、新切間歩の坑道はどの方向に向かって掘られているのか、絵図中に矢印で書き込んでみよう。また、その結果からどのようなことが分かるのだろう。
- 2 自分で見つけた間歩の位置とその名前を図中に書き込んでみよう。



銀の生産遺跡を調べよう



銀山町には、坑道や製錬所跡など直接銀の生産に関する遺跡のほか、そこで暮らした人々の生活や信仰などを物語る遺跡も数多くあります。ここでは、銀の生産に関わる遺跡に注目し、以下の事柄について調べてみよう。

課題

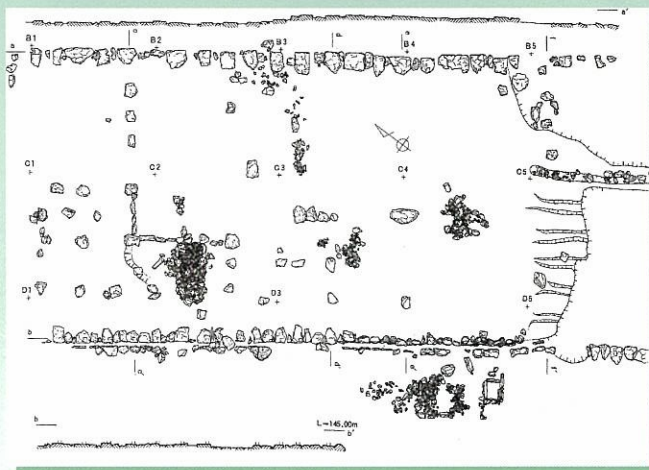
1 間歩の入口のたて・横の大きさについて調べてみよう。

2 龍源寺間歩の入口には丸木を用いて四ツ留が設けられている。この四ツ留をスケッチし、また、それが何のために設けられているのか、その理由も考えよう。



スケッチ

3 間歩の中ではどのような作業が行われていたのか調べてみよう。



下河原吹屋跡実測図

4 吹屋とはどのような施設か。また、下河原吹屋跡にはどのような設備があったのか調べてみよう。(実測図に記入しよう。)

大森鉱山と永久工場

課題

1 絵図を参考にかつての永久工場を散策しよう。



永久工場跡を調べよう



石見銀山は、明治20年から大阪の会社藤田組（現同和鉱業株式会社）により大森鉱山として開発が行われましたが、この藤田組の事務所や製錬所などの諸施設は仁摩町の柑子谷（現在の草木原地区）に建設されました。ここでは、明治以降の大森鉱山の関係遺跡について学習してみよう。

課題

1 煙道について次の事柄を調べてみよう。

- a) 高さ
- b) 直径
- c) 材料
- d) この煙道はどのような目的で造られたのか？
- e) 煙道をスケッチしよう

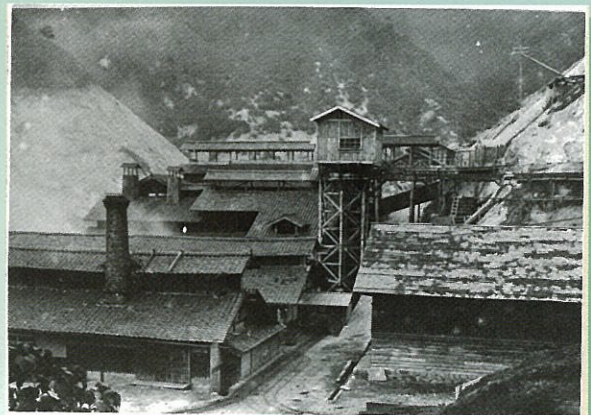


スケッチ

2 柑子谷川の東側にある石垣はどのような施設のために築かれたものか。

3 永久工場の遺跡としてどのようなものが残っているか調べてみよう。

【永久工場の写真】



城の配置を調べよう！

課題

- 1 銀山及びその周辺にある城跡を地図中に書き込んでみよう。
山吹城 石見城 矢筈城 矢滝城
- 2 これらの城の配置状況と戦国大名による銀山争奪の関係を考えてみよう。



城館遺跡の概要



石見銀山とその周辺には戦国時代の城跡が点在しています。
ここでは、それら城跡の特徴について調べてみよう。

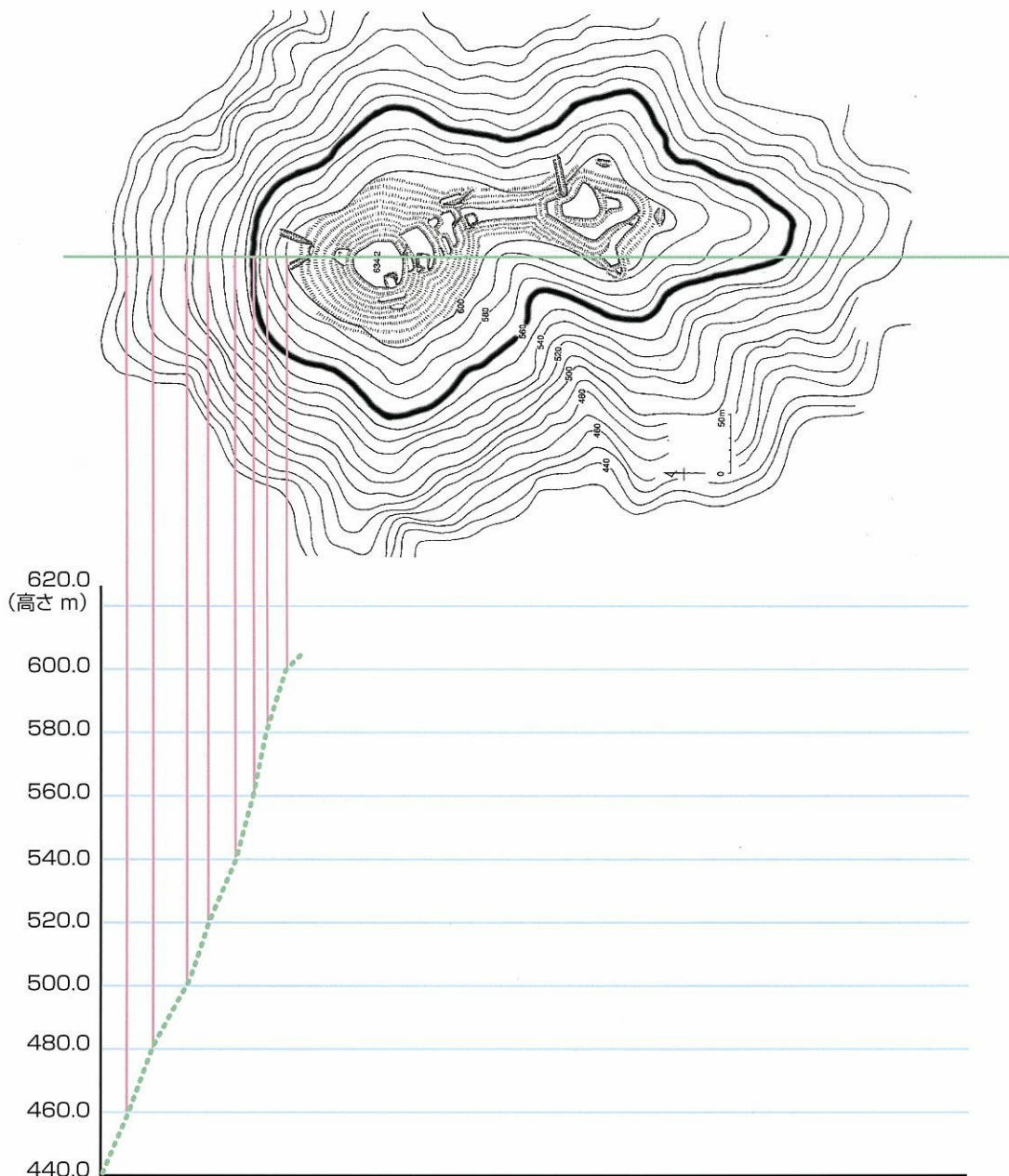
課題

1 矢滝城跡の略測図を等高線にしたがって色鉛筆で色分けしよう。

560m迄は黄緑 560m以上は緑 頂上の平坦地は茶色

2 城が築かれた場所やその周辺の環境、また、地名についても調べてみよう。

矢滝城



銀の積出港について調べよう！

銀山が開発されるようになると、周辺の諸港は銀の積出港として利用されるようになりました。ここでは、仁摩町の鞆ヶ浦と温泉津町の沖泊について調べてみよう。

課題

1 鞆ヶ浦はいつ頃から銀の積出港として利用されるようになったのか。

2 沖泊にある写真【1】の神社を何というか。また、その建物はいつ頃建てられたものか。



写真【1】

3 この神社に残る伝承を調べてみよう。

4 写真【2】のように加工された岩を何というか。また、この写真以外にどのような形のものがあるか調べてみよう。



写真【2】

5 この岩はどのような目的に利用されたのか。

6 鵜の島にある写真【3】の神社を何というか。また、そこにある「弁財天」にはどのような話が伝えられているのか。



写真【3】

課題



1 戦国時代には鵜丸と櫛島にはどのような施設があったのか。また、それはどのような目的で築かれたのか考えてみよう。

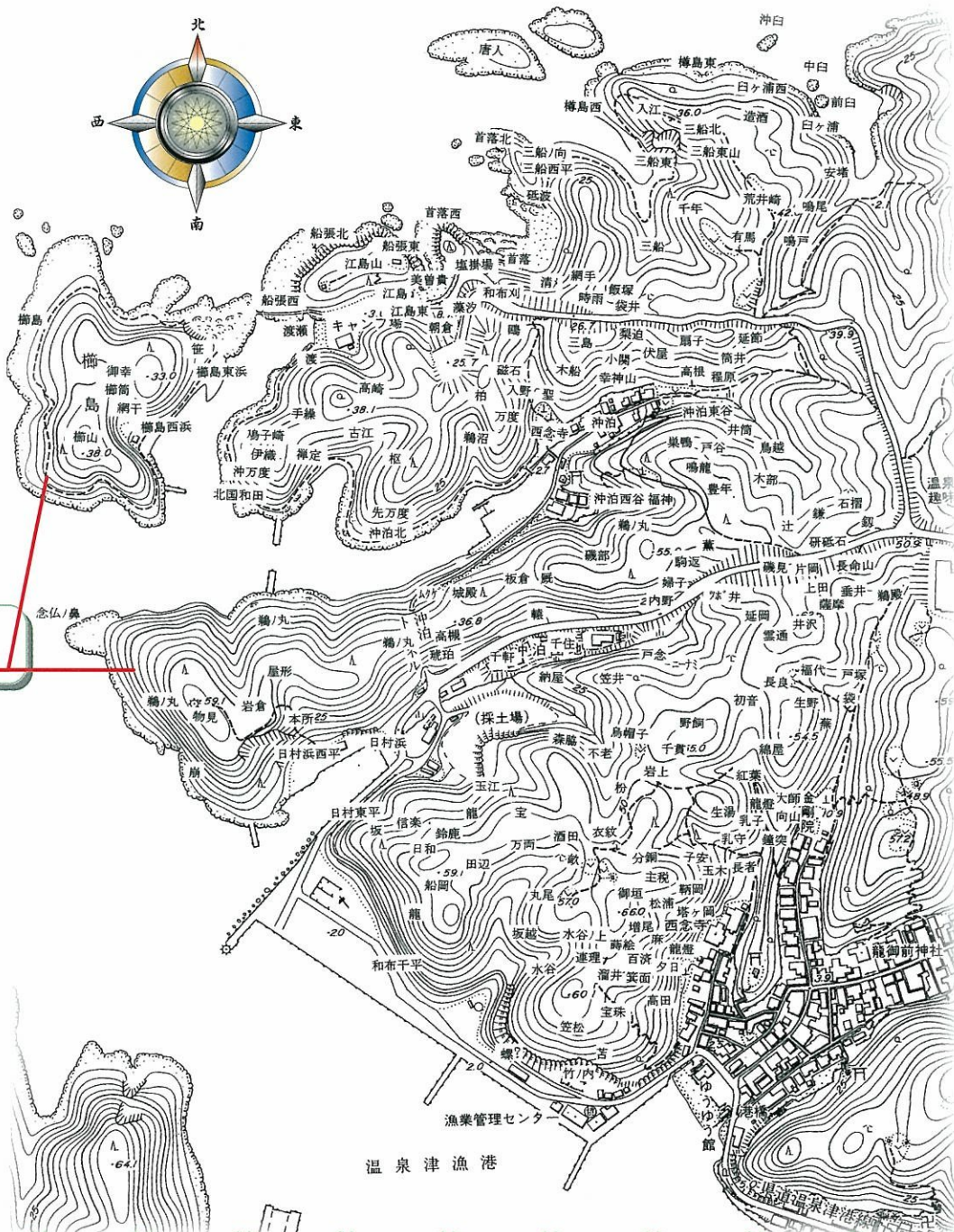
2 地名からその土地の歴史を調べてみよう。

【例】

a) 城館に関わる地名…物見、屋形、厩、駒返

b) 交通に関わる地名…沖万度、先万度（万度とは燈火のこと）

c) 生業に関わる地名…和布刈、網手、研砥石、塩掛場



課題 **1**

温泉津町の史跡マップを完成させよう！

課題

1 温泉津町を散策しオリジナルのガイドマップを完成させよう！



温泉津町について調べよう



温泉津町の発展は銀山の開発と関係が深く、また、古くから温泉地としても知られていました。ここでは、温泉津町の歴史を銀山との関係から調べてみよう。

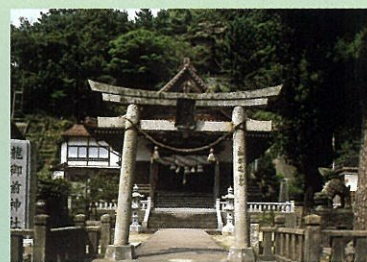
課題

1 恵瑠寺にある写真【1】のお墓は石見銀山奉
行のものですが、誰の墓か。



写真【1】

2 写真【2】は何という神社か。また、この神社
にある鳥居や石灯籠には、どこの地域の人々
の名前が刻んであるかも調べてみよう。



写真【2】

3 写真【3】の内藤家(梅田屋)は、江戸時代ど
のような問屋を営んでいたのか。また、この
ような問屋はどのくらいあったのか調べてみ
よう。



写真【3】

4 表は、温泉津に水揚げされた物資から「水上
銀」(みずあがりぎん)という税を徴収した際
の内訳です。温泉津の港では、どのような物
資が水揚げされたのか調べてみよう。

5 温泉津から銀山へはどのような物資が運ばれたのか。

【寛永8年分の温泉津水上銀の内訳】

項 目	役 銀 高	数 量
米水上役	10貫143匁7分8厘	3805石8斗7升
大豆水上役	250匁8分厘	109石5升
小麦水上役	9匁2分7厘	4石6斗3升8合
大麦水上役	4匁3分4厘	10石7斗5升
小豆水上役	4匁1分9厘	1石5斗7升
鉛水上役	30匁3厘	1994斤
炉糟水上役	43匁4分4厘	6067斤
酒水上役	420匁7分5厘	大樽255 小樽51
銀山入米役	2貫509匁	835駄3俵
銀山入大豆役	410匁	50駄2
銀山入小麦役	6匁	2駄
餅米銀山入役	140匁	46駄2俵

※但し4・10月分は含まれていない。(炉糟は酸化鉛)

多田家文書

※本書の内容を複写、複製、引用、転載される場合には、必ず事前にご連絡ください。

ふるさと学習誌

「石見銀山～野外手帳～」

発行／平成14年3月29日

監修／仲野義文(石見銀山資料館学芸員)

イラスト／小林亜砂子

発行者／大田市外2町広域行政組合 企画担当

〒694-0064 鳥根県大田市大田町大田口1111番地

TEL.0854-84-9155 FAX.0854-84-9156

【E-mail】soma@iwamigin.or.jp 【URL】<http://soma.iwamigin.or.jp/ginshin/>

印刷／柏村印刷株式会社